

木造家屋建築工事における木材、竹材を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	17~18	戸建て住宅にて部材の差し上げ作業中に、元々背後に立てかけてあった部材が何かのはずみで倒れてきてぶつかり、転倒した。	38	—
1	13~14	改築工事において、2階屋根の瓦の葺き替え作業中、2段目の足場を上った時に、瓦のリフトに積んであったコンパネ（1800mm×900mm、約3kg）が落下し、足場を歩いていた被災者に当たり、コンパネと共に約1.8mの高さより地面に落ち、腰と頭部を打ち受傷した。	26	—
1	14~15	新築住宅工事現場で余剰となった建築資材の回収作業中、耐力壁（t9mm、900×4,000、約20kg）を平置き状態から立掛状態にし、搬出方向に方向転換したところ、板厚を持った手袋が滑り、左足指先に落下し負傷した。	64~9	1
1	16~17	倉庫新築工事現場において、倉庫の建前作業中、足場の上でケタの所に木材（ヒノキ角材90cm×長さ400cm）を持ち上げたところ、手が滑って木材が落ちそうになったため慌てて木材を取ろうとした時に、木材が強く胸に当たり、胸骨を骨折した。	68	—
2	17~18	自社、作業場にて材料（木材）（120×120×3000）を横積み中、5段目（高さ約1.5m）から、材料が崩れ落ちてきて、右足を負傷した。	60~9	1
2	13~14	個人宅外構工事において、型枠（重量約25kg）を1人で無理に持ち上げた際、左肩に激痛がはしった。	70~9	1
3	14~15	新築工事で木工事加工中、手かんなどで柱を削っているとき、誤って手のひらにトゲがささった。	69~	1

				9
3	9~10	解体現場にて、解体作業中に出た木材の積み込みの際、トラック荷台で廃材を整理している最中に木材から突き出した釘で右足裏を負傷した。	41	1 ~ 9
3	9~10	工場内の作業台にて、看板用の札を作る為にボール紙を定規を当ててカッターで切っていたところ、力が入り過ぎ手元が狂い、自身の左親指の付け根をカッターで切ってしまう怪我をした。	32	1 ~ 9
4	13~ 14	作業所前に停めた2tダンプより木材（4寸角長さ4m）を移動させる時、手が滑り左手中指が下敷きになり負傷した。大したことは無いと思い仕事を続けたが、痛みが強くなった。	23	1 ~ 9
4	14~ 15	新築工事において、小屋梁りに置いてある垂木45×45×200mm（重さ2.5kg）を2本両手で持ち、引き出そうとした際、右人差し指を挟み負傷した。様子を見たが腫れがひどくなり、痛みが取れなかった。	63	1 ~ 9
6	13~ 14	分譲住宅新築工事において、仮止木材（厚さ3cm、幅10.5cm、長さ4m、約5kg）の取り外し作業中、手が届く高さであったため、手を伸ばして作業を行っていたところ、手から木材が離れてしまい、顔に木材が当たり、鼻に骨折を負った。	36	1 ~ 9
7	15~16	解体工事現場内において、廃材の分別作業をしている時、陶器廃材を運んでいる際、現場内に散らばっている廃材につまずき転倒し、持っていた陶器廃材が割れ、右手首を切り、負傷した。	54	1 ~ 9
7	20~21	事務所前にて従業員に、翌日の作業工程の確認のために、倉庫の資材を使い、練習をしていたところ、誤って資材を足の上に落としてしまった。	22	1 ~ 9
7	16~ 17	事業所倉庫作業場で増築工事中、テント（ブルーシート）片付ける際、角材に躓いて転倒し、右中指の第2関節を脱臼した。	58	1 ~ 9
9	9~ 10	新築工事で材料搬入作業中に、搬入済間柱を整理していたところ、積み上げた間柱が崩れ落ち、右膝を負傷した。	29	1 ~

				9
10	9~ 10	解体工事現場において、ミニ重機を使つての床材の撤去作業中、弓なりになった床板より桟木（5×5×100cm）が外れて飛び、近くで作業していた被災者の左腕に当たり、負傷したものの。	71	—
11	15~ 16	個人宅新築工事現場にて、配管工事作業のためのトラックなどが出入りしやすいよう泥でぬかるんだ地面に鉄板（30kg、長さ1m×1m）を敷こうと一人で引きずりながら移動中、石に躓き鉄板を持ったまま尻もちをついてしまい、腰や臀部を強く打ちつけ負傷した。	27	1 ~ 9
11	14~ 15	当社工場内、断裁機で位置をセットする際、誤ってクランプを下してしまい、指を挟み受傷したものである。	61	1 ~ 9
11	9~ 10	個人宅新築工事現場において、梁材と壁合板の下にあるロープを取ろうと引っ張ったところ、梁の角に右手中指が当たり裂傷となる。	35	10 ~ 29
11	16~ 17	木造住宅の外壁材の撤去作業中、撤去した木材の積み込みをしている時、下に置いた木材の上を歩き、右足で釘を踏んだ。翌日は通常の作業をしたが、翌々日朝に足が腫れ、痛みが出てきた。	56	1 ~ 9
12	12~13	新築工事の玄関の床板に使用する木材を、自社作業場において加工し移動する際に、下に敷いてあった厘木（20cm角×3m）が、高さ80cmの位置から右足の上に落ちてきて負傷した。	35	1 ~ 9
12	10~11	会社の工場にて、残材の仕分けおよび廃棄作業中に、立て掛けてある大量の残材を動かしているとき、自身の不注意により、右手の甲を残材（木材ボード、400×450×3cm）で挟んでしまい、右手を負傷した。	31	1 ~ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)